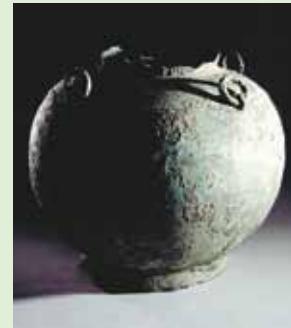


飛鳥資料館秋期特別展「飛鳥遺珍－のこされた至宝たち－」

約1400年前に都が置かれた飛鳥は、当時、我が国の政治、文化、経済の中心でした。そして、当時の様子を物語る遺物が眠る飛鳥。そんな飛鳥の地では、戦前から数多くの発掘がおこなわれてきました。当時の発掘によって明日香村から出土した遺物は、各地の博物館や大学で展示されていました。また、様々な経緯により村を離れた文化財もあります。今年の飛鳥資料館の秋期特別展では、そんな明日香村の至宝達が、里帰りし一堂に会します。ひさしぶりに、飛鳥の地へもどる至宝をご覧になり、ぜひ1400年前の輝きを体感していただきたいと思います。



(飛鳥資料館 成田 聖)

「宮内庁三の丸尚蔵館所蔵
：金銅製四環壺」

会期：2011年10月14日(金)～11月27日(日)

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）

お問合せ：☎ 0744-54-3561（飛鳥資料館）



平城宮跡資料館 秋期企画展「地下の正倉院展－コトバと木簡」

秋は正倉院展の季節です。奈良文化財研究所 平城宮跡資料館では、奈良国立博物館でおこなわれる正倉院展の時期にあわせて、『地下の正倉院展』を開催しています。同じ奈良時代の品でも、こちらは奈良の都、平城宮の地下に眠っていた木簡の展示です。木簡は、光や乾燥に弱いので、まとまった実物資料を見る能够なのは1年のうち、この『地下の正倉院展』の時期のみ。5回目を迎える今年は、音声言語と書写された文字・「コトバと木簡」を中心に展示します。

(企画調整部 渡邊 淳子)

会期：2011年10月18日(火)～11月27日(日) ※会期中、展示替えを2度おこないます。

(Ⅰ期)10/18～30 (Ⅱ期)11/1～13 (Ⅲ期)11/15～27

ギャラリートーク：(Ⅰ期)10/23(日) (Ⅱ期)11/6(日) (Ⅲ期)11/20(日) 14:00～

会期中休館日：10/24、31、11/7、14、21の月曜日

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）

お問合せ：☎ 0742-30-6753（連携推進課）

平城宮出土木簡：
木簡の文字「津玖余々美」は、一音に漢字
一字をあたえた万葉仮名で書かれている。



■ お知らせ

公開講演会（109回）

2011年10月15日(土)

於：平城宮跡資料館

特別公開講演会（東京会場）

2011年12月3日(土)

於：学術総合センター 一橋記念講堂

飛鳥資料館 秋期特別展

2011年10月14日(金)～11月27日(日)

「飛鳥遺珍－のこされた至宝たち－」

平城宮跡資料館 秋期企画展

2011年10月18日(火)～11月27日(日)

「地下の正倉院展－コトバと木簡」

■ 記録

現地見学会

○平城第483次発掘調査（興福寺北円堂）

2011年9月17日 800名

埋蔵文化財担当者専門研修

○石器・石製品調査課程

2011年9月12日～16日

14名

○自然科学的年代測定法課程

2011年9月26日～30日

3名

飛鳥資料館 夏期特別展

2011年8月2日～9月4日

「鋳造技術の考古学－東アジアにひろがる鋳物師のわざ－」 3,047名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimur@nabunken.go.jp
発行年月 2011年9月